



「ふくしま創生総合戦略」の取組状況について

参考資料1－3

【概要】 ふくしま創生総合戦略（令和2～6年度）の最終年となる令和6年度は、移住者数が過去最高を更新したものの、若年層の県外流出が顕著であり、社会減に歯止めがかかっていない状況にある。他方で、外国人宿泊者数や移住を見据えた関係人口等が増えてきており、この新しい人の流れを移住・定住につなげていく必要があるとともに、あらゆる主体と力を合わせ「オール福島」で人口減少対策に取り組んでいく必要がある。

総合戦略の基本目標		取組状況				主な課題と総合戦略における対応の方向性	
		施策の方向性	主な指標			主な課題	対応の方向性
			項目	基準値(R2)	最新値(R6)		
1 一人ひとりが輝く社会をつくる (ひと)		一人ひとりの希望をかなえる	合計特殊出生率	1.48	1.15 (未達成)	結婚・出産・子育ての希望をかなえる (主な実績) マッチングシステム等による成婚数28組	少子化の背景には、経済的な不安定さ、出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、家事・子育ての負担が女性に偏っている状況など、希望の実現を阻む様々な要因が絡み合っており、総合的な支援が必要である。
		健やかな暮らしを支える	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(%)	31.2 (R元)	－ (未達成見込み) ※R5 32.2	心身ともに健やかな暮らしを支える (主な実績) 適正体重キャンペーンの参加者数10,770人	運動不足や日々の食習慣により肥満や塩分摂取量に加え、メタボリック症候群の割合が全国ワーストクラスで推移しており、生活習慣改善の取組が必要である。
		地域を担う創造性豊かな人を育てる	地域の課題を解決するための提言や社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合(%)	17.0	55.9 (未達成)	ふるさとへの理解・誇りを育む (主な実績) 地域人材ネットワークバンクの登録者数 221人	学校での地域課題探究活動の更なる推進に向けた校内体制の整備や、地域との連携体制構築、高校卒業後の大学生等と地域をつなげる仕組みづくりが必要である。
2 魅力的で安定した仕事をつくる (しごと)		活力ある地域産業を支え、育てる	製造品出荷額等(億円)	50,890 (R元)	－ (達成見込み) ※R4 54,610	未来を拓き、復興をけん引する新たな産業を育てる (主な実績) 設備等補助件数 4件	各施策の効果をビジネスに繋げ、その効果を県全域に波及させるため、産業の育成・集積を促進する必要がある。
		魅力ある農林水産業を展開する	新規就農者数(人)	204	322 (未達成)	多様な担い手を確保・育成する (主な実績) 福島県農業経営・就農支援センター相談対応件数 1,352件	担い手の減少と高齢化が進む中、本県の主要産業である農業の成長産業化に向け、多様な担い手を育成・確保するとともに、受け皿となる農業法人等の雇用を充実する必要がある。
		若者の定着・還流につなげる	安定的な雇用者数(雇用保険の被保険者数)(人)	580,442	554,899 (未達成)	地域産業への理解を深める (主な実績) 企業見学会・技術体験・企業ガイダンスの参加学生数(高校生)1,918人	県内企業の人材不足は若者の県外流出等が要因の一つであると考えられることから、若い世代への情報発信など県内産業の人材確保に向けた取組が必要である。
3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる (暮らし)		安全で安心な暮らしをつくる	スマートシティに取り組む市町村数(市町村)	1	29 (達成)	多様な人が参加・連携する地域づくりを進める (主な実績) ICTアドバイザー派遣市町村数41市町村	県のみならず、市町村においてもデジタル変革(DX)に対するニーズは高まりつつあるものの、小規模自治体においては人材不足や財政的な制約等の理由から取組が進んでいない傾向がある。
		ゆとりと潤いのある暮らしをつくる	成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率(%)	49.9 (R元)	44.0 (未達成)	文化とスポーツの振興による地域づくりを進める (主な実績) スポーツ体験教室・ボランティア研修参加者数 280人	生涯スポーツ社会の実現のため、子どもから高齢者まで誰もがいつでもスポーツを実施できる環境整備が必要である。
		環境に優しい暮らしをつくる	温室効果ガス排出量(2013年度比)(%)	△8.9 (H30)	－ (調整中) ※R4 △21.3	省エネの徹底や再エネの最大限の活用など、気候変動対策を推進する (主な実績) EV補助の件数 302件	本県では当面の目標として、2030年度の温室効果ガス排出量を基準年度(2013年度)比で▲50%を目指しており、削減目標の達成に向けて、あらゆる主体の連携による更なる取組が必要である。
4 新たな人の流れをつくる (人の流れ)		地域の多様な魅力を発信する	外国人宿泊者数(人泊)	51,180	293,330 (達成)	「福島ならではの」魅力を発信する (主な実績) 市場別SNS等での情報発信回数648回	外国人観光客の確実な誘客に結びつけるため、国ごとの嗜好に応じた現地目線でのプロモーションを強化していく必要がある。
		ふくしまへ新しい人の流れをつくる	人口の社会増減(人)	△6,278	△6,849 (未達成)	希望の暮らし方をふくしまで見つけられるよう多面的に支援する (主な実績) 都内の相談窓口における相談件数7,711件	若者・女性の流出(社会減)が、婚姻率や出生数の減少(自然減)にも影響しているため、あらゆる主体が一体となり人口減少対策に取り組む必要がある。

